

令和7年度政務活動報告書（会派用）

会 派 名 自由民主党

代表者名 加 藤 和 彦

政務活動テーマ	活 動 内 容
■観光・経済成長戦略、大都市制度の実現	長引く物価高騰が市民生活や事業活動に深刻な影響を及ぼす中、地域経済の回復と力強い成長が急務である。地元商店街や中小企業の支援、観光イベント等を通じた交流人口の拡大、さらにはスマート農業の推進による都市型農業の競争力強化を図るとともに、次世代を見据えた大都市制度の実現と中心部再開発など、本市の経済成長を牽引し都市間競争に打ち勝つための以下の調査研究を行った。 ●物価高騰等により厳しさを増す地域経済において、中小・小規模事業者の事業活動支援や、長町商店街など地域に根ざした商業活動の振興に関する調査研究 ●「SENDAI 光のページェント」をはじめとする地域を牽引する観光イベントへの支援や、大河ドラマ誘致、国際級会議（学会）の誘致など、交流人口拡大に向けた施策の推進 ●都市型農業の持続的発展と稼ぐ力の強化を目指し、スマート農業（自動化機械の導入や乾田直播等の省力化・AIデータ活用技術）の推進と後継者育成に関する調査研究 ●「課題先進地」東北の牽引役として、JR 仙台駅周辺や定禅寺通の再開発など中心部の再生と、先端技術を活用した大都市制度・都市間競争力強化に関する調査研究
■ 防災・減災推進、国民保護	激甚化・頻発化する自然災害に加え、近年多発するクマ出没被害など、市民の生命と財産を脅かすリスクは多様化している。東日本大震災の教訓を次世代へ継承し防災環境都市としての発信を続けるとともに、デジタル技術を活用した災害対応の高度化やインフラの老朽化対策、野生鳥獣被害への科学的な対応体制の構築など、市民の安全・安心を確立し危機管理体制を強化するための以下の調査研究を行った。 ●激甚化する自然災害から市民の生命と財産を守るため個別避難計画の作成や災害対応のデジタル化、無電柱化を含む道路インフラの局所対策に関する調査研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
■愛着の持てる市民施設の着実な整備、まちづくりの更なる推進	医療や救急体制の充実、障害者の就労支援体制づくりと障害者理解の促進、NPO 等による学習・生活サポート支援を通じた子どもの貧困対策の推進に関する調査研究 市民が誇りと愛着を持てる「杜の都」の環境や文化を守り育てながら、持続可能な都市基盤を構築することが求められている。次世代モビリティを活用した公共交通ネットワークの構築をはじめ、公共施設の着実な整備と長寿命化対策、さらにはテクノロジーを活用した行政のデジタル化推進など、未来に向けて魅力ある街づくりと強固な行財政基盤を確立するための以下の調査研究を行った。 ●青葉山エリア等における自動運転バスの実証実験の成果を踏まえ、次世代を見据えた地域公共交通ネットワークの構築と交通不便地域の解消に関する調査研究 ●公共施設マネジメントに基づき、墓園施設やスポーツ施設、本庁舎・議会棟など、市民が愛着を持てる公共施設の着実な整備および長寿命化対策に関する調査研究 ●文化の振興拠点となる音楽ホール等の整備に向けた検討や、伊達文化を生かした都市の魅力づくりなど「杜の都」の環境を活かしたまちづくりの推進 ●RPA 等の導入を通じた行政手続きや市民サービスのデジタル化推進、および責任ある財政運営と強固な財政基盤の確立（国への税源移譲等の働きかけ）に関する調査研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和7年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党
議 員 名 加藤 和彦

政務活動テーマ	活 動 内 容
・観光戦略 ・農業振興 ・中小企業支援対策 ・総合支所建て替え ・経済対策 ・東北連携、仙山連携の強化 ・豪雨、防災対策 ・教育、子育て環境対策 ・有害鳥獣対策（クマ） ・スポーツ施設対策	○地域街づくり ○西部地域仙山連携強化 ○郊外型都市構造の強化 ○地域、町内会、各種団体 仙台市域内外における地域活性化対策など、現地調査、ヒアリング、インターネット等を使用し調査活動を行いました。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和 7 年度政務活動報告書（会派内用）

（令和 7 年 4 月 1 日～3 月 31 日）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 高 橋 たくみ

政務活動テーマ	活 動 内 容
・ 公設市場の更新について ・ 持続可能な交通安全施設の在り方について ・ 行政のデジタル化について ・ 都心の再開発について ・ 地域交通施策について ・ 教育環境の実態調査と改善について ・ 地域問題、町内会の実態調査 ・ 持続可能な商店街の在り方について ・ 観光施策について ・ イン・アウトバウンドについて ・ 大河ドラマの誘致について ・ 大河誘致に伴う施策について ・ M I C E の誘致について ・ 市民ホールのあり方について ・ 姉妹都市交流について ・ ダイバーシティへの取組みについて ・ 障がい者福祉施策について ・ スポーツ環境の施策について ・ ごみ焼却施設について ・ 震災メモリアルについて ・ 犯罪被害者支援について ・ ウォーカブルなまちづくりについて ・ 歴史遺産の活用について	市政に関する市民からの要望・意見を聴取し、現地調査、実態調査を行い、関連局職員と折衝し解決に向けて活動した。また、議会、委員会、調査特別委員会等で発言し、問題解決に努める。 新聞、インターネット、専門書や資料、また国内外の有識者からの意見聴取を行い研究し、仙台市政にとって有効で市民生活をより豊かにするための施策等を提言、提案を行う。 仙台市民の福祉の向上を目的とし、市民生活より豊かにする施策実現に向け活動

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和7年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 佐々木 心

政務活動テーマ	活 動 内 容
○鉤取球場整備	◇大規模改修工事を予定している鉤取球場について、関係者各位と情報交換を行い、特に段差の激しい観覧席のバリアフリー対応を求め、開会式やその他の式典で音響施設への導入を見据え検討し、また芝生の維持管理の在り方、今後の整備の方向性について調査研究を行った。
○子どもの遊び場整備	◇幼稚園関係者や子育て世代との意見交換を行い、屋内施設の新設予定の駐車場台数の確保策など、他都市視察を行いながら継続的に調査研究を行った。
○仙台市中央卸売市場改修	◇老朽化している仙台市中央卸売市場の改修工事後の、アクセス整備や飲食ブースの必要性など他都市視察を行い、調査研究を行った。
○障害者施策	◇継続して行っている関係団体等の研修会や茶話会に参加し、情報交換を行った。さらに、障がい者相談の現状とDX導入に向けて、各関係機関と情報交換を行った。また、8050問題を提起にひきこもり支援の状況など調査研究を行った。
○観光施策	◇観光コンテンツの在り方を他都市視察で学び、また宿泊税の導入先進地域から現状を伺うなど、多方面において歴史的コンテンツ、既存コンテンツの魅力アップなど、他都市に負けない観光戦略について調査研究を行った。また、長町エリア事業に地元商店街などから情報交換を行い、賑わい創出のための宿泊施設導入への調査研究を行った。
○病院再編	◇医師会や歯科医師会、看護連盟などの研修会や懇談会の参加し、病院再編の考えや今後の説明方針について情報交換を行った。

○地域交通	◇八本松・郡山地域交通の試験運行が始まり、持続可能な事業にするために関係団体との会議に参加し、朝一くんの必要性を求め導入した。
○教育行政	◇や学校プールの在り方、集金アプリ、PTA組織の考えなど、さらに、中学校部活動地域展開、不登校支援の現状と評価、受け入れをしていたインターン生と共に現地調査を行い、幅広い関係者と多角的な面での情報交換を行い、改善や新たな課題としてある内容について、適宜議会質問を行い対応した。
○客引き条例	◇繁華街の客引き条例の周知や実効性の拡大、安全で安心に繁華街を楽しめるために改善を求め、関係者との市幹部との意見交換を行った。特に、警備については、屈強な方への導入と深夜帯の充実を求め、陳情活動を行った。
○クマ対策	◇環境省に国対応の現状のレクを受け、猟友会と意見交換を行い、課題と支援の中身を詳しく聞き取り導入を求め調査研究を行った。
○複合施設整備	◇複合施設、特に生音に特化したホールの特性やイベント誘致など、関係者からヒアリング調査を行い、その必要性について議会質問を行い対応した。

※この報告書は収支報告書に添付してください。

令和7年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 千葉修平

政務活動テーマ	活 動 内 容
メガソーラー問題と条例改正	これまでも継続的に議論してきたが、今年度は、第二回定例会、第三回定例会の一般質問にて、大規模な森林伐採、水源地域のメガソーラーの問題点を指摘。本市の規制条例の強化、ノーモア・メガソーラー宣言の提案、保険加入の事業者チェックの必要性などを提案した。その結果、令和8年度の規制条例の改正が決まり、設置規制区域に「森林地域」「水道水源保全区域」を追加し、原則設置禁止へ。仙台市域の7割をカバーすることに成功した。
大手門建設に伴う仙台城跡線の通行禁止と交通環境について	第四回定例会の一般質問で、将来、仙台城跡線が通行禁止になった場合、開発が進む青葉山エリアと八木山を結ぶ道路の渋滞が予測され、その代替策として、滝の口橋梁を含む川内旗立線の整備を提案。
4 病院再編構想	第二回定例会の一般質問で、街づくりの観点から日赤跡地の活用に、本市として関わるべきと提。具体的には、医療機能に加え、商業施設等や子育て世代の交流の場となるような複合施設の可能性を提案。市もコンサルに調査を依頼し、住民意見を聞くなど動き始めている。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
「市民遺産制度」の創設。	令和6年度第三回定例会に提案した市民遺産制度が、令和9年度に創設されることが正式に決定しました。
「ケアラー支援条例」の制定	令和7年第一回定例会で提案したケアラー支援条例が、令和9年度に制定されることが決まりました。
地区集会所の建設等補助金	令和7年第四回定例会の一般質問にて、補助金の増額を提言。令和8年度より、新築の上限額が1000万円⇒1200万円に引き上げとなりました。
都心再構築プロジェクト	第二回定例会の一般質問にて、市街地再開発補助金の要件の緩和を提案。結果、令和8年4月1日から、都市貢献の高い事業に対し、市街地再開発補助金の拡充が行われることが決まりました。
JR 仙台駅周辺のマンション建設ラッシュ	第二回定例会の一般質問にて、本市はこのエリアを都心への商業やオフィスビルを集積することを目指しており、規制条例も含めて検討すべきではと提案。
クマ対策強化を会派要望 (10月)	全国初の緊急銃猟が行われるなど、住民の不安を受けて市長に要望。政務調査会長としてとりまとめ。本年度予算では2億5784万円の予算がつきました。

令和 7 年度 政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 猪又 隆広

政務活動テーマ	活 動 内 容
○製品プラスチック一括回収・リサイクルの評価と展望	・本市では、全国に先駆けて取り組んだ施策の一つに、「製品プラスチック一括回収・リサイクル事業」がある。本事業により、プラスチックを捨てる際の市民のわかりにくさの解消、プラリサイクルの推進、脱炭素都市づくりに大きく寄与していると承知している。令和 6 年度の速報値で 13,111 トンものプラスチックの資源化に成功しましたが、一方で家庭ごみの組成をみると全体の 13.6%、約 2 万トンのプラスチック資源が混入していることから、家庭ごみに含まれるプラスチック資源を正しく分別するための徹底した市民周知が必要である。 ・本市では、全国に先駆けて製品プラスチック一括回収に係る再商品化計画を策定し、全国で第 1 号となる環境大臣・経済産業大臣の認定を取得した。本事業は、J&T 環境株式会社が担っているが、1 期目の契約単価は 1 kg あたりべール化 24.1 円、リサイクル 56.0 円の合計 80.1 円の 3 年間単価据え置きでの契約で始まった。この価格は後発の他自治体と比較しても安い単価であり、さらに、物価高騰、エネルギー価格や、最低賃金の上昇、企業努力でのコスト削減を行ってもこの 3 年間の 1 期目の事業は大変苦しい状況だったと聞いている。令和 8 年 4 月から始まる 2 期目に向けては、今後の物価・エネルギー価格を考慮しながら毎年度単価を見直し、社会情勢に合わせた価格設定を行うべきである。 ・プラゴミの一括回収では、多くの不適物が混入していると聞いている。中には包丁や釣り針といった危険物もあり、作業員が負傷したケースもあるようだ。市民へのプラ

	スチック資源の排出に関して今一度、正しい出し方の周知が求められる。 ・一括回収により、JIS 相当の品質レベルの強度や質が担保された物流倉庫で使われるパレットに生まれ変わっている。仙台市民が出したプラスチック資源が、本市でパレットとして生まれ変わっているという好循環を活かすべきだ。 ・環境教育の面においても、重要な位置づけとなっている。本市では清掃工場が主な環境教育の施設となっているが、プラスチックリサイクル工場も重要な環境教育の場である。各学校に呼び掛けていく必要がある。
○海岸公園(藤塚地区)のパーク PFI の実現性	・藤塚の海岸公園は、パーク PFI の導入により民間活力を掘り起こそうと全天候型遊び場の整備のため募集をかけたが、応募は榴岡公園と同様にゼロだった。当初、海岸公園に整備予定の全天候型の遊び場については、子育て世代からの期待も大きかったが、その後、西公園の市民プール跡地への屋内遊び場整備、荒浜地区ではJRフルーツパークが全天候型の遊び場を令和 9 年夏の開業を目指し取り組んでおり、海浜エリアを一体的に考える中で、藤塚地区への全天候型遊び場は本当に必要なのか再度検討する必要がある。今後のパーク PFI の見通しと併せて、マーケットサウンディング等で事業者の意向を確認し、再度パーク PFI にチャレンジするのかをしっかりと示すべきだ。
○不登校児に対する健診機会の保証	・学校での健診は、学校保健安全法で義務付けられており、すべての児童生徒を対象とし、毎年 6 月 30 日まで実施することが明記されている。学校を通じて実施される健康診断は、不登校で学校に通えない子どもたちはハードルが高く受診できず、健康格差を生んでいるという課題も指摘されている。学校医のクリニックで受診できる場合もあるが、検査内容については、学校と学校医で取り決めているため、各学校で検査項目が異なっており、追加で発生する

○ひきこもり実態調査後のひきこもり支援の取り組み

項目によっては自費での受診となっている。そもそも複数の医療機関を回る事自体が、不登校家庭の心理的負担にもなっているといわざるを得ない。今後、選択肢の一つとして、学校外で無償で健診ができる場を仙台市医師会や健康福祉局とも連携しながら、事業を実施していくこととなるが、適切な不登校児支援になることを強く望む。

・本市ではひきこもりの実態を把握するために全数調査を行った。東京都江戸川区を参考に私が議会で提案したものである。本市では、ひきこもり状態の方がいると回答いただいた世帯は、3,325 世帯、人数にすると 3,956 人の方にお答えいただき、そのうちの約半数はひきこもりの当事者の方々からの回答だった。今後、ひきこもり当事者の方々やその家族との継続的な取り組みが必要と考える。

・継続した支援や相談体制の充実が進む一方で、更なる環境整備の充実は今後の課題の一つである。「働きたい」というニーズを受けた短時間勤務や企業の受け皿など健康福祉局以外からのアプローチも必要になってくる。重層的な支援の在り方が求められているが、今後ひきこもり支援のための他局との連携会議を設置し、着実なひきこもり当事者の受け皿づくりを求める。

・ひきこもり支援は継続した息の長い支援が必要となる。成果や数字ばかりではなく、当事者や家族が置き去りにならない支援が必要。行政のひきこもり支援にそういった視点も折り込みながら、本当の意味で寄り添った支援を求めたい。

○仙台ハーベストビレッジへのスーパー出店

・六郷地区の 6 次産業化推進施設「仙台ハーベストビレッジ」のスーパー出店について仙台市はもっと主体的に関わるべきである。ようやく新たな事業者も決定したことから早期の、可能であれば年内のオープンが求められる。仙台市としてもバックアップとともに、六郷地区の今後のまちづくりを含め具体的な支援をしていくべきである。今後、

○屋内遊び場の整備

本施設は六郷地区のまちづくりを進めていくうえで、新たな拠点施設となることが見込まれる。施設の有効活用とまちづくりを一体的に考えていく必要がある。

・市長は市長選で「こどもが輝く仙台」を公約のトップに掲げていた。特に、これまで私自身も強く求めてきたこどもの屋内遊び場についてはその筆頭にあげられた。今後、議論を進める中で大きな課題の一つとなるのは事業費だ。近年整備・契約された類似施設の実績等から算定をし、施設本体の建築工事費が 35 億円程度と示されたが、近年の資材・人件費の高騰、そのほかの環境整備や遊具設置等も考えると、事業費の総額や財源については不安が残る。大型のハード整備が続く本市にとって、どのように財源の見通しを示していくのかは重要となる。

・施設の素案が示されたが、利用料金の在り方については明確に示されていない。保護者向けの WEB アンケートでは 63%が無料を望んでいるが、こども本人は無料だが保護者は有料や仙台市民と市外・県外利用者での異なる料金設定など、料金の設定についてはさまざまな考え方があ。利用料金については基本計画策定まで決定するとの文言はありませんが、いつまでにその考え方を示すのか明らかにすべきである。

○放課後児童クラブの待機児童ゼロ

・就労環境や家族形態の多様化などを背景に放課後児童クラブへの本市の登録児童数は 15,500 人を超え、年々右肩上がりとなっている。今後、令和 9 年度当初まで増加するとの見込みであるが、見込みは見込み。低学年優先枠の設定も大きな課題がある。令和 8 年度の募集に向けて待機児童ゼロを目指すべきである。さらなるサテライト室の整備や、児童クラブの上限設定や登録要件、低学年優先枠の在り方を再検討すべきと考える。

○公立中学校の学びの多様化学校設置

・学びの多様化学校については、市長選の公約にも掲げられ、中学校の設置については明確なスケジュールのもと、

○地下鉄東西線沿線のまちづくり

早期に設置の実現に向けて取り組んでいく課題である。特に、既存の学びの多様な学校であるろりぽっぷ小学校との連携やそこに通う児童や保護者の声をしっかりと反映させるべきである。

・地下鉄沿線のまちづくりを本市では進めている。特に、卸町は本市の台所としてその機能を担ってきているが、様々な課題を抱えている。一つは、人材の確保である。新卒市場は学生に優位な売り手市場となっている中、市内の有名企業にばかり人材が流れている現状がある。まずは、卸町の会社を知ってもらう機会を増やす取り組みを進めるべきである。また、卸町のまちづくりの在り方も考える必要がある。定禅寺通りにも負けない卸町グリーンベルトの整備は卸町に人を呼び込む方策のひとつである。また、卸町を走る都市計画道路、原町岡田線通称卸町大通は手つかずの状態となっており、早急な整備が求められる。もう一つは六丁の目元町地区である。仙台工業団地が移転しその跡地の活用については注目の一つとなっている。現在、土地地区画整理事業組合による工事が進められているが、その進捗についてもしっかりと示すべきである。また、地下鉄沿線の中で、地下鉄とのコラボはすすめるべきである。開業 10 周年を迎え、沿線の事業者や民間ともっと連携をする取り組みを強く望むものである。

○新宮沢橋の開通時期

・平成の時代からその構想があり、令和元年から始まった新宮沢橋の工事が完成が見えてきた。宮沢根白石線を経由して国道 45 号線と国道 286 号線が接続されることになり、宮沢橋交差点の改良や交通の円滑化、仙台駅東口や仙台東部地域、仙台西部地域のアクセスが格段に向上することになる。現行の計画で残りの工事は、宮沢橋の舗装工事、宮沢橋交差点の道路改良工事完了後の令和 8 年末ごろの供用開始となっているが、具体の時期を早期に示すべきと問うたところ、令和 8 年 9 月開業が示された。地域に愛される橋になるよう望む。

※、この報告書は収支報告書に添付してください。

令和7年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 内藤 良介

政務活動テーマ	活 動 内 容
○側溝清掃による冠水対策	○側溝清掃による浸水被害軽減のため、市の予算に負担をかけずに行う方法について市民の皆様や地元中小企業の方々との意見交換を行い、太白区役所と協力してこのシステム構築の為に企業・町内会・区役所と意見交換や現地調査を行った結果をもとに、3回目の実証実験を複数社にて数日に分けて行い、新たな問題点や課題を確認した。
○地域交通の必要性について	○現在地域交通のない地域において必要としている地域があるか市民の皆様と意見交換と現地調査を行った。 ○現在地域交通を導入しようと進めている市民の方と意見交換・現地調査を行い、問題を認識。 ○中々認識をして頂けない理由や問題について調査を行い、広報活動に努めた。
○若者の地元定着について	○地元大学生と現在の仙台市の就職状況も含めた仙台のさらなる若者の定着の問題について意見交換を行い、解決に向けての調査を行った。 ○地元中小企業の方と新規雇用の問題について意見交換を行った。

○自転車事故問題について

○地元大学生と自転車事故問題解決について意見交換を行い、現地調査を行った。

○杜の都の自転車プランの改定にあたり特に問題となっているヘルメット着用の必要性について問題になっている事の調査を行った。

○電動キックボードの導入により変化する状況について、利用者だけではなく。歩行者への周知の必要性について意見交換や調査を行った。

○いじめ問題について

○いじめ問題を解決していくにあたり、本市の35人以下学級の事や、どのようにしたらいじめの問題解決につながるのかを、専門にしている方との意見効果や現状の問題について調査研究した。

○いじめ問題の解決において、いじめられる子を減らす為にはなにが問題となるのかを、いじめにあった方等と意見交換を行った。

○教職員の方々といじめ問題について意見交換を行った。

○いじめや不登校の早期発見につなげるためのAIを導入した民間の技術を調査し、本市においても活用出来ないか調査を行った。

○地域問題として

○地元の道路状況等の問題点について市民の方と意見交換を行った。

○南仙台駅の高架化や橋上化について地域の方と意見交換と現地調査を行い、今後どのようにしていく必要があるのかを調査・研究した。

○南仙台駅西口改札設置に向けた必要性なども踏まえ、様々な市民の皆様と意見交換や調査を行った。

○物価高騰などについて

○市民の皆様との現状問題等の意見交換を行った。

○経済回復に向けた問題等について意見交換を行った。

○防災について	○マイタイムライン活用に向けて地域の方々と意見交換を行った。 ○教職員のかたや協力頂いている企業等と子供たちの防災教育について意見交換を行った。 ○他都市の防災教育等を調査し、本市においてどのように出来るのか調査研究を行った。 ○震災遺構荒浜小学校等防災を伝えるためや、経験のない子供たちに伝えるための方法を意見交換し、調査研究を行った。
○観光について	○本市と伊達文化でつながりのある松江市との今後の連携をしていく為に、松江市との意見交換を行いながら本市との連携を深め、観光交流に繋がる可能性を調査した。 ○インバウンドを含めた、本市への観光客の誘致に向けて意見交換や調査を行った。 ○クルーズ船の誘致に向け、他都市視察を行い調査した。
○スタートアップ事業について	○他都市の先行事例など視察調査を行った。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和7年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党
議 員 名 西澤 啓文

政務活動テーマ	活 動 内 容
1. 観光施策について	国内外の観光客を仙台へ誘致促進を図る方策について調査・研究
2. スポーツ施設の整備について	民間活力導入も含め、更なるスポーツ施設整備を進めることで、市民のスポーツ活動をより活性化する方策について調査・研究
3. 中心市街地の再整備について	中心市街地の再整備に向けてビルオーナー等へのインセンティブ等を設けることでその促進を図る方策の調査・研究
4. 空き家対策について	現在特に大都市においてそのニーズが高まっている、入居予定者によるリノベーションを推進し、その有効利用及びみなし市営住宅の活用を図る方策について調査・研究
5. 農業振興策について	農業振興に向けて、6次産業化への方策について調査・研究

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
6. 高齢者等の安全・安心の確保について	心身に不安をかかえる独り暮らし高齢者や重度の身体障害者の安全・安心確保策について調査・研究
7. 仙台港の利用促進について	仙台港の管理に本市がより積極的に関わることで、この周辺への関連産業集積とそれによる雇用の促進を図る方策について調査・研究
8. 仙台空港の利用促進について	国内外からの観光客増に向けの仙台空港の利用促進に、今後本市がどの様に関わることが必要かについて調査・研究

令和7年度務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党
議 員 名 赤 間 次 彦

調査・研究テーマ	活 動 内 容
・魅力ある都市づくり ・大都市制度について（特別市） ・障害者スポーツについて ・障害者施設について ・災害に強いまちづくり ・高齢者・障がい者・子育て等の支援について ・豊かな農業施策の確立、食の安全について ・文化アミューズメント、施設等について ・音楽ホールについて ・地域ブランドについて ・都市整備（都市計画道路、都市機能）について ・交通事業 ・相互交流事業について ・パークゴルフ場の開設・利用・整備、運営経営体、利用者の反応等の調査 ・シティセールス、・インバウンド、アウトバウンド ・国際姉妹都市交流について ・高齢者の労働参加について ・地球温暖化対策 ・企業誘致と雇用 ・市民待望の文化・スポーツ施策の充実について ・いじめ問題、教育の充実について ・医療提供体制について ・地域商店街の経済助成と活性化について ・公営企業の民営化や官民連携等について ・その他	・現地調査 ・資料収集 ・関係者からの聞き取り ・先進事例の調査 令和7年4月22日～24日 視察先：神戸、大阪 ・大阪万博 ・街中の再開発について ・その他 令和7年5月27日～30日 視察先：名古屋、岡山、熊本 ・エスカレーター条例について ・田んぼダムについて ・その他 令和7年8月27日～29日 視察先：札幌市 ・全国市会議長会研修 ・一人暮らしの高齢者やハンディキャップを持つ方の安全に対する取り組み ・その他 令和7年10月24日～26日 視察先：滋賀県彦根市、長浜市、野洲市 ・障害者スポーツ大会について ・障害者スポーツの普及の現況について ・その他 研究テーマや、時事的な問題等について市民や各種団体への訪問調査、懇談会を重ねて広報広聴活動を行っている。課題や問題点などを抽出し、議会の場での議論や要望、提案活動、働きかけなどを行っている

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和7年度政務活動報告書（会派内用）

会派名 自由民主党

議員名 鈴木 勇治

政務活動テーマ	活 動 内 容
環境とごみ問題	・環境負荷低減策の充実の働きかけを行った。 ・家畜糞尿、食料品の食べ残し、農業生産物等のメタンガス化施設の普及、坪沼地区での可能性を調査した。 ・同施設の適正立地の模索を行った ・太陽光発電所事業の適正立地と活用及び規制等について研究をした ・事業参入意欲調査
高齢者介護基盤の充実	・高齢者の入所施設の整備促進を進める。 ・介護事業者の団体及び介護を続ける家庭等の訪問調査を行った。 ・高齢者、障がい者等の食事自立支援サービス事業の充実・・・事業者の調査を行い当局に改善を求めた。 ・適正立地の模索と安定経営と運営維持についてヒアリングをおこなった ・事業者募集に至らなかった要因と今後の課題について予定していた事業者に面談ヒアリングを行った。
大都市制度の在り方及び地方都市の権限の拡充	・住民ニーズに的確に応え、市民にとってより充実したサービスを提供していく為には、権限、財源をもつことが不可欠である。指定都市市長会で検討を進めてきた特別自治市を含め、新たな大都市制度実現に向けて市民の議論を喚起し積極的に取り組んだ。
議会改革 ・開かれた議会のあり方 ・市議会の ICT 化	・開かれた議会の在り方についての進化について、また議会の ICT 化の進捗について、他市議会との情報収集、必要性の懇談を行った。

都市交通施策と基幹道路の安全確保 交通弱者対策と狹隘道路の安全確保	・交通安全施設業協同組合との勉強会や懇談会を重ね現状と改善策を市当局に提言した。 ・狹隘道路の改善について、土地家屋調査士の活用について同協会会員との勉強会に参加 ・通学路の安心安全対策の徹底を求め、現場調査、学校や保護者のヒアリングなどを行った。 ・取り残された被害個所の調査、被害者からの聞き取りを行い、農業施設、生活施設の安全対策の調査。
引き続く雨水被害と 2022.3.16 地震の被害関連 ・農業基盤の被害復旧 ・道路等生活環境の復旧促進 ・各種支援策の円滑な導入 ・風水害時の避難計画と避難所の在り方	・支援対象外となった被害箇所の復旧状況調査。 ・雨水被害想定箇所の調査
新型コロナ感染症及び感染症対策	・学校、保育所、高齢者施設の換気対策とウイルス除去方策について
農業関係基盤	・子育て支援対策の強化による財源のひっ迫から本事業が取り残されることの無いよう、該当箇所の点検と調査を行い行政側への働きかけをおこなった。
有害鳥獣対策	・被害箇所の調査
中小企業等の団体による社会貢献活動の促進	・中小企業団体等の社会貢献活動の促進と働きかけ
農業生産物の産地形成と販売方法	・山元町、蔵王町、山形県天童市高畠町旭町、福島市、米沢市、中山町、山形県朝日町のリンゴ農家、県内の道の駅などで産地形成や維持についてヒアリングや調査を行った。

小中高生等のスポーツ推進 シニア層のスポーツ活性化委	・市民及び有識者へのヒアリングをおこなった。 - 市民活動に対する情報提供
スポーツ大会誘致と交流人口の拡大	・スポーツの各全国大会の参観とヒアリング調査
仙台日赤病院を含む4病院統合移転	・医師会太白ブロックとの情報交換等に参加 ・対応策の研究
地域のイベント活性化によるコミュニティの強化	・地域イベントへの支援強化とコミュニティ力の強化について調査

※この報告書は収支報告書に添付してください。

令和 7 年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党
議 員 名 野 田 謙

政務活動テーマ	活 動 内 容
○屋内遊び場整備	・施設の規模や内容等、利用料金の設定や周囲にある、西公園、青葉通や広瀬川のみならず、大橋、国際センター、緑彩館、博物館、仙台城跡などの施設等と屋内の遊び場との連携、活用方策について調査研究。
○防災庁誘致について	・東日本大震災の被災、復興経験もあり、防災研究機関や人材育成機能が集積している。首都圏との交通利便性にもすぐれ、国際会議や研修、交流人口の増加などの経済効果も見込まれることから、誘致に向けた調査研究。
○今後の観光振興と宿泊税	人口減少や都市間競争の激化も見込まれるなか、国内外から多くの人々を惹きつける観光スポットの整備、東北各地との更なる連携、宿泊税活用による観光資源への投資、宿泊者数を増やし地域に還元し、事業者の方々に実感してもらえるよう意見聴取及び調査研究
○施設の老朽化対策	・老朽建築物の割合が高まってビルの更新が進まない、建築費の高騰、賃料の低迷による収益性の悪化などに対する建替え促進助成金制度の具体的反応や反響等の調査等を行う。
○財政問題	・財源確保と財政規律の現状について引き続き調査・研究
○いじめ対策、不登校対策	・いじめを受けた子供たちのケアについては、きめ細やかに行う必要がある。いじめを受けた子供が、やむにやまれず他の学区へ転校した場合、通学時間や距離が長くなり、交通機関の利用に係る家庭の経済負担などについて意見聴取及び調査
○少子化対策	・子育て支援に加え、若者の結婚、就労、生活基盤の安定に向けた取り組みについて意見聴取及び調査。
○安全・安心な街づくり	防犯カメラを活用した犯罪抑止策や、緑地や公園の整備による安心感の向上。地域住民のコミュニケーションの促進を計り、犯罪の減少と市民の安心・安全を図る為の調査及び研究、意見徴収等を行う。
○その他市政全般	☆上記項目等、令和6年度に引き続き調査研究 ☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化対策等、調査やヒヤリングを行い活動

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和7年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自 由 民 主 党
議 員 名 庄 司 俊 充

調査・研究テーマ	活 動 内 容
自然災害に関する課題 戦争や紛争から派生する課題（防衛、食糧、電力調達、他） ・ 地域経済の振興、産業振興政策 ・ 地域経済の再生 ・ 地域のふれあいと活性化 ・ 自己、地域、行政、民間の防災対策について ・ 未来に向けた災害時の対応（教育の中や地域などで受け継いでいく教訓） ・ 障害者の社会参加の就労支援体制 ・ 介護予防と介護支援の充実 ・ 高齢者の健康づくり（生涯学習や市民農園など） ・ 子育て支援施設、制度の充実 ・ 災害時の対応（要介護者、未就学児等支援が必要な方への在り方） ・ 環境への負荷の少ない都市づくり ・ 水、緑保全の対策推進 ・ 個性ある新産業の創生 ・ にぎわいや豊かな生活文化をつくる産業の振興 ・ 屋上緑化 ・ 泉ヶ岳の活用のあり方 ・ 産業誘致 ・ 休耕田の利活用、市民農園の拡充 ・ 市街地の賑わい活性化	本市は杜の都として、木材利用の促進や環境配慮型都市づくりを進めてきております。2025年に行われた大阪万博の象徴ともいえる大屋根リングの再利用に関して現在建設中の本庁舎への活用を提言して参りました。 地域交通と未来型公共交通について 地域の暮らしを支える移動手段を確保することがますます重要な課題となっており、高齢者や障害者、学生などいわゆる交通弱者のかたがたにとって移動手段の確保は生活の質に直結する問題であることから、地域ニーズに合わせた地域交通の充実を図り、安全かつ信頼性の高い運行の見通しについて当局へ見解を求めました。 ツキノワグマ対策について 中山間地域付近のみならず、市内中心部にも出没するようになっており、地域住民の安全確保とともに、捕獲物の処理に関する費用や捕獲報酬を実態に合わせる等、環境整備を見直すよう提言しております。 生活支援に関して 老々介護や、単身者の生活支援に関する相談や介護支援事業者への聞き取り等を行っている。 令和7年4月22日～24日 視察先：神戸 大阪 ・ こべっこランド 子どもの屋内遊び場調査 ・ 東遊園地～JR神戸駅前広場（再整備、再開発） ・ 大阪万博 ・ うめきた公園（再開発） ・ その他

- ・人にやさしいまちづくりについて
- ・農業振興策について
- ・新産業創出について
- ・観光振興について
- ・地方創生、一億総活躍社会実現に向けた取り組みについて
- ・地方創生を見据えた今後の地域経済活性化事業の展開について
- ・仙台市内パークゴルフ場の新設整備
- ・農地の有効活用と農と食の連携
- ・スポーツツーリズム
- ・いじめ問題
- ・商店街活性化事業について
- ・外国人観光客誘致について
- ・まちの魅力の発信、広報について
- ・高齢者や子供を地域で見守る環境づくり
- ・8050 問題
- ・引きこもり、自死問題
- ・ゴミ減量
- ・地元産木材の積極的な活用
- ・音楽ホール、文化施設について
- ・その他

地域や各種団体への聞き取り・現地調査や陳情要望等に関しても当局他、議会や委員会の質問等を行った。

研究テーマについて市民や各種団体への訪問調査、懇談会の開催や参加を重ねて広報広聴活動を行っている。課題や問題点などを抽出し、議会の場での議論や要望、提案活動、働きかけなどを行っている

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

令和7年度政務活動報告書

会 派 名 自由民主党
議 員 名 橋 本 啓 一

仙台市を取り巻く、少子高齢化・人口減少の進展という厳しい状況にあって、民間と行政が力を合わせ新しい発想で経済をはじめ福祉、教育、そしてまちづくりなど、持続的な発展を実現する責務があります。又、新型コロナウイルス感染症の再拡大に備えるなど、市民生活をしっかり守る取り組みを強力に推し進めて参ります。

覚悟を持ち、市民一人ひとりの声に対応した市政運営を実行する為に、下記の各般にわたる調査研究を行いました。

政務活動テーマ	活 動 内 容
1 ◆市民生活の安全・安心の推進	
○仙台圏域における病院の 移転・再構想について	移転・再構想に関する、精神医療や救急医療体制の適切なあり方について、関連する医療関係者から意見聴取を進める。
○地域コミュニティづくりと活性化対策について	高齢化が進展する町内会組織等、地域の課題解決に向けた取組みと NPO や民間団体、PTA 団体の持つノウハウを生かした地域活動の取組みについて調査を進める
○増加するクマの安全対応について	クマ出没に対応した子ども達の登下校対策や地域の安全対策について調査研究を進める
○区役所のサービス向上の取組みについて	区役所間の格付けを導入した、市民サービス向上の調査を行う。又、更なるワンストップ窓口を活かした、市民にわかりやすい窓口業務について、調査を進める。
○屋台を活用したまちの活性化について	福岡市の屋台を活かした地域の賑わいづくりの取組みを参考にした制度・施設の調査を行う。
○消防団、交通指導隊の機能強化と支援について	消防団、交通指導隊の充足率アップの取組みと、小中学校の P T A や子供会育成会、オヤジの会といった地域関係団体との連携・ネットワークづくりについて調査・研究を行う。
○地域の防犯・防災とその強化について	町内会をはじめ、体育振興会、子供会育成会、商店会等の情報共有の取組みと互いの活動を補完し合う一体となった地域の安全・安心につなげる体制づくりの調査を進める。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○わかりやすい終活活動について	終活支援条例に基づいた周知をはじめとした相談対応の検証調査を行う
○高齢化に対応したオンライン診療のあり方について	医師不足を見据えた、地域の実情に合ったオンライン診療の対応について調査を行う
○更なる投票率アップと適正な選挙事務改善について	大学生・専門学校生・高校生を対象とした若年層の投票率アップ等の取り組みに関する調査を進める。
○社会問題化する SNS に関する対応について	インターネット等による誹謗中傷のない対策について制度創設を踏まえた取り組みの調査を進める
○自助・共助の仕組みづくりについて	中高大学生の力を活かした地域防災リーダーを育成し、地震や豪雨等の自然災害に備えた自主防災組織の体制強化について意見交換、調査研究を進める。又、女性の視点を踏まえた防災対策の調査を行うとともに、民間事業者と連携した帰宅困難者対策の充実について調査を行う
○差別、偏見のない社会づくりについて	性的マイノリティの方々が安心して暮らせる環境づくりの制度の充実について調査を行う
○一般家庭ごみの排出抑制について	一般家庭ごみ削減とリサイクルできる製品プラスチック等の取り扱い強化について調査を進める。
○身近な国際こうりゅうのあり方について	かつて開催していた、市内国際交流イベント等のあり方を踏まえ、地域住民との交流の場の提供について調査研究を行う
○海洋汚染への対応について	廃プラスチック類の排出抑制の取り組みと民間事業者の取り組みの対応について調査を進める。
2 ◆社会保障充実の推進 ○地域福祉の強化について	介護保険事業計画のもと、介護報酬や人材確保等の支援のあり方等について、調査を行う。又、地域包括ケアシステム構築に対応した包括支援センターの更なる機能強化策について各センターへの調査を進める。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○生活習慣病予防に充実について	日頃の運動不足や生活習慣病予防に対応した、市内公園整備のあり方について調査を進める
○地域医療の充実について	市内における二次・三次救急の適正な配置バランスのあり方や、地域のかかりつけ医との連携強化の促進について調査を行う。又、市立病院におけるガン対策や一体的なうつ対策と、精神医療や小児救急医療と夜間こども救急診療所の体制強化について、調査研究を進める。
○健康、介護、地域社会への連携した制度のあり方について	高齢者、障害者の社会参加、域外づくりの取組みを検証し、人生 100 年時代に向けた制度のあり方の調査研究を行う。
○障害者の就労支援について	障害者の資格取得支援や就労情報提供、民間事業者とのマッチング等、各種支援の効果的なあり方について調査・研究を行う
○介護サービスの充実について	介護報酬に左右されない介護サービス基盤の充実と体制づくりについて意見交換と調査を行った。又、認知症対策など介護予防事業や健康づくり施策拡充の調査を進める。
○深刻化する介護福祉分野での人手不足対策について	福祉現場での即戦力となる外国人人材の受け入れを希望する福祉関連事業者からの意見を聴取するとともに、外国人研修生募集の取組みについて調査を進める。
○認知症の方と家族への支援について	認知症への理解を深めるとともに、認知症の方とその家族と連携し、支援体制づくりについて調査を進める。
○障害者保険福祉計画に基づいた取り組みについて	共生社会実現に対応した理解促進や支援の充実について調査を進める
○中・高齢者の生きがいづくりについて	生きがいを持って健康でいきいきと暮らせる環境づくり、ICT デジタルの活用の取組みについて調査を進める。
3 ◆新型コロナウイルス感染症以降の対策 ○アフターコロナの対応について	セルフケアをはじめ、フレイルリスクのある高齢者等への指導、普及啓発について調査を行う。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○感染拡大防止と医療体制の整備について	医療機関と高齢者・障害者福祉施設が連携した感染防止について、意見交換を行うとともに調査を進める。
○雇用の維持対策と財政支援について	飲食店や中小企業等の資金繰りや経営の支援など、国からの支援協力の拡充や政令市への自治体支援のあり方に関する調査を進める。
○医療・福祉の施策について	コールセンター体制の対応拡充、＃7119 電話相談体制の活用に対応等について、各都市の取り組み状況等を引き続き調査した。又、軽症者（自宅待機者）の早急な受け入れ体制の拡充と、自粛期間中の健康維持について聴取を引き続き行う。
○救急体制の充実について	増加する救急需要や高齢者に対応するための機能強化について調査を行う
○感染症への柔軟な対応について	感染症法等に関する権限や運用について都道府県から政令市への委譲などについて調査を進める。
○経済・雇用支援について	サービス業や飲食業、宿泊業等への経営支援や産業振興事業団を活用した地元中小企業への販路確保対策、又、テレワーク導入の為の支援について、調査を行う。
○教育、保育への支援について	AI 型教材の導入によるオンライン教育の推進と児童クラブにおける人材と安全の確保、在宅児童の勉強のあり方について調査を進める。
4 ◆確かな教育体制と次世代育成の推進	
○教育環境の充実支援策について	生きがいづくり、民間団体の不登校対策の支援拡充策と経済的に困っている家庭への「タダゼミ」等の NPO 団体との連携による支援策について聴取・調査を行う。
○不登校対策の充実について	フリースクール等の学校外施設への運営支援や制度構築について調査を行う
○子育て環境支援の拡充について	幼児教育と保育の無償化に伴う財政支援のあり方や、子ども医療費助成への拡大的財政措置に関する意見交換を行い調査を進める。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○地域における子育て支援について	児童センターと小学校における放課後子供教室のあり方、そして、地域資源（人材）を活かした子育て支援のバックアップ等に関する調査研究を進める。又、待機児童対策として、幼稚園から認定こども園のスムーズな移行や延長保育、休日夜間保育の充実、保育所の拡充に伴う人材と質の確保に向けた待遇改善、又、認定こども園への移行に向けた環境、整備に関連し、事業者への聴き取り、調査を行う。
○深刻化するヤングケアラー対策について	ヤングケアラーやその家族への支援充実について調査を行う
○高齢化する郊外部への医療体制整備について	オンライン診療を活用した地域医療体制の整備について調査を行います
○待機期間の長期化対応について	増加する発達相談支援体制の拡充策等について調査を行う
○高齢化する障害児（者）の保護者の高齢化問題について	重症心身障害児（者）の福祉体制の充実について調査を進める
○子どもの貧困対策について	経済的困窮家庭の子供の経済状況や支援に取り組む民間団体の活動の調査を進める。 又、学習支援を実施している民間ボランティア団体についての情報収集や取組みについても調査を行う。
○教育環境の整備について	少人数学級の推進といじめ問題の対策強化、特別支援教育の充実、不登校対策について意見聴取・調査を行う。学校支援地域本部の対象校拡大と不登校対策に関連したスクールソーシャルワーカーの強化について研究調査を行う。ICTを活用した教育環境づくりについても民間事業者との意見交換を行う。
○いじめ対策について	いじめ対策専任教諭の活用方法の検証、フリースクール等の取組みや特別支援コーディネーターの適正配置、特別支援教育の更なる推進に関する調査研究を進める。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
5 ◆地域経済の活性化の推進 ○既存の地元企業支援について ○東北大学放射光施設の利用促進について ○安定した定期便運行の取り組みについて ○アフターコロナを見据えた経済観光対策について ○デジタル化に向けた実施支援策について ○地域経済活性化に向けた経済政策 ○中小企業の体力強化について ○農業施策の振興等について ○起業支援と多様な働き方について ○賑わいと活力のある経済の活性化について	スタートアップ支援をはじめ、地域の既存中小企業の必要な支援のあり方、国・県の補助メニュー、サポートのあり方について調査を行う。 「ナノテラス」の安定的な運用をはじめ、利用促進を図るための調査を行う タイ バンコク定期便の延伸や、インバウンド・アウトバウンドの取り組み強化について調査を行う。 仙台市の果たす役割とインバウンドに対応した広域連携・交流の取組みと誘客促進策について、有識者等からの意見聴取を進める。 マイナンバーカード活用による手続きの効率化やデジタル化の基盤整備の支援、ICT 教育の推進に関する調査を行う。 東北放射光施設活用による活性化策や東北圏域内における観光・経済交流の連携によるイノベーション都市実現に向けた取組に関する調査を行う。 物価高騰の中、中小企業の抱える資金繰り等の課題や販路拡大に対する支援のあり方、更に産業振興事業団等との積極的な連携について検証と調査を進める。 高齢化の進行による農地の耕作放棄地対策や後継者不足に対応した人材育成策、又、農地の集約、市民農園への転用など、現状を踏まえた課題解消に向けた調査を行う。 「スタートアップ」の形成と人材育成の取組みへの財政支援のあり方について調査を行う 国家戦略特区の活用や、在仙大学間の連携による都市の競争力強化策や仙台駅前の再開発を踏まえた市中心部の活性化について（地下街の検討を含め）調査研究を進めるとともに、交流人口拡大等について調査を行う。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○インバウンド強化について	海外からの広域連携によるインバウンド強化について調査を行う
○広域連携と観光交流拡大について	東北圏域の広域的連携強化や仙台空港、仙台港の積極的活用によるインバウンド、アウトバウンドの一体的な推進について、調査を進める。
○若者への就労支援について	キャリアカウンセリングを支援する「若者サポートステーション」の利用促進や若者への情報提供などを行うジョブサポーター強化の調査を進める。
6 ◆未来への魅力あるまちづくり	
○注目される副都心施設整備の市民理解に繋がる取り組みについて	音楽ホール、中心部震災メモリアル拠点複合施設整備に対応した、課題抽出等の調査を進める
○地域交通の確保と対策について	高齢化が進む郊外部での公共交通の確保について調査を進める。
○公共交通の利便性向上と利用促進について	市中心部の渋滞解消にむけて、地域ごとの効果的なバス、地下鉄の連携強化やＩＣ乗車券イクスカ等を活用した活性化策について調査、研究を進める。又、民間事業者等が取り組む地域循環バスの有効性の検証や活用について、調査研究を行う。
○インフラの防災強化と地域を支える人づくり	震災の経験や教訓をもとに進めてきた「防災環境都市づくり」の検証について
○災害備蓄品管理にあり方について	自然災害発生時における備蓄品管理やスムーズな調査のあり方について調査を行う
○地震、豪雨への対策について	頻発するゲリラ豪雨や浸水への対策について、民間事業者のノウハウや技術を活かした取り組みについて調査を進める。
○道路、橋梁、トンネル、公園等の長寿命化対策について	老朽化が進む道路関連施設の適切な長寿命化の取り組みについて調査を行う。又、長寿命化強化の為に財政的強化策としてネーミングライツ等の積極的導入の調査を進める。
○仙台市が進める施設の長寿命化の検証について	朽化した公共施設の長寿命化の促進と計画的な整備方針の推進について調査を行う
○自然災害を乗り越える創造拠点の整備について	「災害文化」の創造と発信に対する支援と取り組みについて調査を行う

※この報告書は収支報告書に添付してください

政務活動テーマ	活 動 内 容
○分煙の取り組みについて	課題と整備について調査を進める
○市郊外のまちづくりと空き家対策について	進行する人口減少や高齢化対策として郊外における住みかえや空き家の有効活用について不動産業界団体との意見交換会を行い調査を進める。
○文化施設の充実について	文化振興の拠点となる音楽ホールの早期建設に向けた課題のあらいだしと先進地の取り組み事例等の調査を進める。
○広域道路の将来計画について	国道4号線バイパスをはじめ、広域道路ネットワーク整備について調査を行う
○都市計画道路の見直し後の整備について	都市計画道路が廃止された既存道路の早期の再整備と廃止予定の先行取得用地の有効活用等について調査を行う。
○街路樹の適正な管理について	市内各所に見られる根上りの対策と老化した街路樹の更新のあり方の取り組みについて調査を進める。
○市街化調整区域の現状について	市街化調整区域における建築違反状況の調査を行うとともに、地域の実状に応じた土地利用のあり方について調査を進める。
○税の視点を踏まえた空き家対策について	空き家対策として、固定資産税や都市計画税の課税の取り組みについて聴取を行う。
○太陽光パネルの普及促進について	仙台市が進める2050年ゼロカーボンシティに向けた住宅向けの太陽光パネルや蓄電池の購入の課題等について調査を行う。
○市民が誇りに思える都市の魅力づくりについて	仙台市の歴史・風土・伊達文化を活かした都市の魅力創出に向けた施策等の調査を行う
◆健全な財政運営と財政基盤、そして行政改革 ○責任をもった財政運営について	道州制や「特別市」のあり方など早期実現に向けた取り組みについて調査を行う
○行財政改革の一層の推進と市議会の活性化について	国からの税源移譲等のあり方を調査するとともに、事業の厳正化や民間活力の活用を通じた財政健全化に向けた調査を行う。

※この報告書は収支報告書に添付してください

政務活動テーマ	活 動 内 容
○健全な財政運営について ○地域の特性に応じた大都市制度について	人口減少の課題に対応した、産学官民が連携した財政運営や医療福祉の諸施策の検証を行う。 民間委託の推進や市役所体質の改革、コンプライアンス順守徹底のための意見交換を行う。又、区役所の土、日開放や平日の窓口業務の時間延長等の拡充についても調査を進める。 公共施設マネジメントや市有建築物の長寿命化の推進について調査を行う。 ☆上記活項目について調査研究 ☆その他、各種団体、仙台市内における地元活性化対策等、調査やヒアリングを行い活動

※この報告書は収支報告書に添付してください

令和 7 年度政務活動報告書（会派内用）

会 派 名 自由民主党

議 員 名 千葉 ようすけ

政務活動テーマ	活 動 内 容
○子どもの遊び場・居場所環境の充実	本市における子どもの遊び場、屋内外の居場所、親子で安心して過ごせる環境について、市民や子育て世帯との意見交換、他都市事例の調査、現地確認等を行った。 特に、天候に左右されず利用できる屋内遊び場や、身近な地域で子どもたちが安全に過ごせる公園・公共施設の活用について、利用者目線で課題を整理した。 また、単に施設を整備するだけではなく、子どもが何度も行きたくなる魅力、保護者が安心して滞在できる環境、地域の交流拠点としての機能など、子育てしやすいまちづくりにつながる施策について調査研究を行った。
○多文化共生と生活情報の周知	外国人住民や転入者を含め、多様な市民が地域で安心して暮らせる環境づくりについて調査研究を行った。特に、外国人住民が地域社会の一員として生活していくうえでは、日本の生活習慣や地域のルール、公共の場におけるマナーを理解し、遵守していただくことが重要である。 そのため、日本語支援、防災情報の提供、生活ルールやごみ分別の周知、行政情報へのアクセス、地域活動への参加促進など、市民生活に身近な課題について整理した。 外国人住民を地域社会の一員として受け入れる一方で、地域で共に暮らす以上、守るべきルールやモラルを共有することは不可欠である。地域住民と外国人住民が互いに理解を深めながら、安心して暮らせる共生社会のあり方について調査研究を行った。

※ この報告書は収支報告書に添付してください。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○保育現場の課題と保育の質の確保	保育現場における人材不足、保育士・保育教諭の処遇、施設運営の持続可能性、保育の質の確保について調査研究を行った。保育施設では、待機児童対策の時代から、保育の質、人材確保、施設の安定運営、保護者ニーズへの対応がより重要になっている。現場の実情を踏まえ、保育行政の今後の方向性について整理した。 また、保育士不足に対応するため、潜在保育士の活用、子育て支援員制度、保育人材バンク、短時間勤務希望者とのマッチング、人材紹介手数料の負担軽減などについて調査研究を行った。
○認定こども園・小規模保育事業 0歳児保育のあり方	認定こども園、小規模保育事業、0歳児保育など、乳幼児期の保育制度について調査研究を行った。 小規模保育事業については、少人数で家庭的な保育ができる一方、3歳以降の受け皿や転園時の負担など、制度上の課題があることから、保護者や施設運営者の声を踏まえ、より柔軟な制度運用について研究した。 また、0歳児保育については、保育室の面積基準、安全性、視認性、保育士配置、施設ごとの実態を踏まえ、子どもの安全と施設運営の両立に向けた調査を行った。
○アレルギー児・障害児・医療的ケア児への支援	保育施設や学校、地域の中で、アレルギー児、障害のある子ども、医療的ケア児が安心して過ごせる環境づくりについて調査研究を行った。 アレルギー対応については、給食やおやつ提供時の確認体制、職員間の情報共有、専用食材や調理器具への対応など、施設側の負担と安全確保の両面から課題を整理した。 また、障害児保育や医療的ケア児支援については、必要な職員配置、備品整備、専門職との連携、保護者支援、地域の中で共に育つ環境づくりについて調査研究を行った。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○若者の市政参加と次世代人材の育成	若者が市政や地域課題に関心を持ち、まちづくりに主体的に関わる仕組みについて調査研究を行った。 若者や学生との意見交換を通じ、若い世代が感じている仙台の魅力、課題、将来への不安、地域参加へのハードルなどを把握した。 また、若者が単なる意見聴取の対象ではなく、政策提案や地域活動の担い手となるための仕組み、学生による政策ブレゼン、人材育成、地域活動への参加促進について調査研究を行った。
○太白区の地域課題と生活環境の改善	太白区内の各地域における生活環境、道路、歩道、公園、通学路、交通、防犯、地域活動などについて、市民からの要望や現地確認を通じて調査研究を行った。 長町、長町南、富沢、富沢南、鹿野、泉崎、郡山、八木山、八本松周辺など、それぞれの地域特性や生活圏に応じた課題を把握し、行政施策につなげるための整理を行った。 特に、日常生活の中で生じる小さな困りごとについても、市民生活に直結する重要な政策課題として受け止め、地域の声を丁寧に把握する活動を行った。
○通学路・道路・歩道等の安全対策	子どもたちや高齢者、地域住民が安心して移動できる道路・歩道環境の整備について調査研究を行った。 通学路の安全確保、交差点や横断歩道の改善、見通しの悪い道路、歩道の段差、交通量の多い箇所などについて、地域住民との意見交換や現地確認を行った。 また、地域の安全対策は行政だけでなく、学校、保護者、町内会、地域団体、警察等との連携が不可欠であることから、関係者との情報共有のあり方についても調査研究を行った。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○長町・富沢・八木山等のまちづくり	太白区の主要エリアである長町、富沢、八木山等のまちづくりについて調査研究を行った。 長町地域については、商業、住宅、交通、公共施設、子育て環境が集積する地域として、今後の仙台市の発展を支える拠点形成のあり方について研究した。 富沢地域については、子育て世代の増加や住宅地としての発展を踏まえ、交通、道路、公園、学校、生活利便性などの課題について調査を行った。 八木山地域については、地下鉄東西線、教育機関、動物公園、地域資源を活用したまちづくりや、生活利便性の向上について調査研究を行った。
○地域交通と公共交通の利便性向上	高齢者、子育て世帯、学生、通勤者など、さまざまな市民が利用しやすい地域交通のあり方について調査研究を行った。 公共交通の利便性、地域内移動、バス路線、地下鉄沿線のまちづくり、自転車や徒歩で移動しやすい環境について、地域の声を踏まえながら課題を整理した。 また、人口減少や高齢化が進む中でも、地域の生活を支える移動手段をどのように確保するかについて、他都市事例も参考に調査研究を行った。
○地域コミュニティと市民協働	町内会、PTA、地域団体、ボランティア、商店街など、地域を支える担い手の不足や高齢化について調査研究を行った。 地域のつながりは、防災、防犯、子育て、高齢者の見守り、こどもの居場所づくりなど、市民生活のさまざまな分野に関わっている。 そのため、地域活動に若者や子育て世代が参加しやすい仕組み、負担を分散する運営方法、行政と地域の役割分担、持続可能な市民協働のあり方について調査研究を行った。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○仙台市の人口減少対策と若者定住	人口減少、少子化、若者流出が進む中で、仙台市が将来にわたり活力を維持するための政策について調査研究を行った。 若者が仙台に住み続けたいと思える環境、子育て世代が選ぶまちづくり、雇用の創出、教育環境、文化・スポーツ・都市の魅力などを総合的に捉え、定住促進に向けた課題を整理した。 また、仙台が東北の中核都市として、若者や子育て世代に選ばれる都市であり続けるために必要な政策について調査研究を行った。
○地域経済の活性化と中小企業・起業支援	人口減少社会において、市民生活を支える財源と雇用を生み出すため、地域経済の活性化について調査研究を行った。 中小企業、小規模事業者、地域密着型事業者、商店街、若手起業家、スタートアップなど、地域経済を支える多様な担い手への支援について、事業者との意見交換や資料調査を行った。 また、企業誘致、起業・創業支援、若者の起業支援、雇用創出、賃上げ環境、人手不足対策、事業承継、地域内経済循環について調査研究を行った。
○物価高騰と市民生活・家計負担への対応	物価高騰、光熱費、食料品価格、資材価格の上昇が、市民生活や事業者経営に与える影響について調査研究を行った。 特に、子育て世帯、低所得世帯、高齢者世帯、保育施設、中小事業者などへの影響を踏まえ、国・県・市の支援策や本市独自の対応のあり方について整理した。 また、家計負担の軽減、教育費負担、保育料制度、生活困窮世帯支援、事業者支援など、市民生活を守るための施策について調査研究を行った。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○行政サービス・DX・財政運営	市民にとってわかりやすく、使いやすい行政サービスのあり方について調査研究を行った。 窓口サービス、オンライン手続き、行政DX、データ活用、業務効率化、職員の働き方、市民目線での手続き改善などについて、行政資料や他都市事例を踏まえながら課題を整理した。 また、人口減少、社会保障費の増加、公共施設の老朽化を踏まえ、財政見通し、歳出改革、財源確保、公共施設マネジメント、官民連携、持続可能な行政運営について調査研究を行った。
○防災・治水・災害に強いまちづくり	近年の豪雨災害や自然災害の激甚化を踏まえ、防災・治水対策について調査研究を行った。 排水機場、河川管理、浸水対策、避難所運営、学校防災、地域防災、防災情報の発信などについて、現地確認や関係資料の調査を行った。 また、災害時に子ども、高齢者、障害のある方、外国人住民などが取り残されないよう、地域と行政が連携した防災体制のあり方について調査研究を行った。
○文化・観光・スポーツによる都市魅力の向上	仙台市の文化、観光、スポーツ、歴史資源を活用した都市魅力の向上について調査研究を行った。 音楽文化、音楽ホール整備、市民が文化に触れる機会、こどもの文化体験、地域スポーツ、地域イベント、青葉まつり等の地域文化、歴史資源の活用について調査を行った。 また、アニメ・ゲーム等のコンテンツ活用、eスポーツ、若者文化、大河ドラマ誘致、交流人口の拡大など、仙台の魅力を内外に発信し、地域経済や市民の誇りにつなげる施策について調査研究を行った。

政務活動テーマ	活 動 内 容
○農業・食・地産地消の推進	都市部と農村部を併せ持つ仙台市の特性を踏まえ、農業振興、都市型農業、スマート農業、地産地消について調査研究を行った。 農業従事者の高齢化、人手不足、資材価格の高騰などの課題を踏まえ、ICT・AIの活用、スマート農業機械の導入、担い手確保、収益性向上について整理した。 また、学校給食や地域飲食店との連携、食育、地域の食文化の発信など、農業を地域経済や子どもの学びにつなげる施策について調査研究を行った。